

目次

第1章 序論	1
I. 研究の背景.....	1
II. A 総合周産期センターにおける社会的ハイリスク妊婦スクリーニングシステム ...	2
1. 社会的ハイリスク妊婦スクリーニングシステムの導入と経過.....	2
2. 社会的ハイリスク妊婦スクリーニングシステムの現状調査.....	5
3. 支援カンファレンス参加者とのディスカッション.....	8
4. 社会的ハイリスク妊婦スクリーニングシステムの課題.....	8
III. DNP プロジェクトの目的・達成目標	10
1. DNP プロジェクトの目的	10
2. 達成目標 1	10
3. 達成目標 2	10
第2章 文献検討	11
I. 妊娠期における社会的ハイリスク妊婦のスクリーニング.....	11
II. 社会的ハイリスク妊婦のスクリーニング項目.....	11
III. 社会的ハイリスク妊婦のスクリーニング方法.....	12
IV. 社会的ハイリスク妊婦への介入の有効性.....	14
第3章 実用化計画の概念モデル	16
I. 改善のための実用化計画.....	16
II. 主要な用語の定義.....	17
第4章 方法論	18
I. 研究デザイン.....	18
II. 実施場所.....	19
III. 参加者	20
IV. 手順・実行計画.....	20
1. DNP プロジェクトチーム	21
2. 実装戦略とその手順.....	21
V. アウトカムの測定用具.....	24
1. 組織的アウトカムの測定.....	24
2. 実装化に向けた測定.....	24
VI. データの収集.....	27
1. 変更されたスクリーニング方法を利用した妊婦に対しての質問紙調査.....	27
2. 産科外来でスクリーニング判定をする助産師への質問紙調査.....	27
3. 助産師と臨床心理士、MSW にフォーカスグループインタビュー	27
VII. データの分析.....	28

Ⅷ. 倫理的配慮.....	28
第5章 結果	30
Ⅰ. スクリーニングシステム改善に向けての準備期.....	32
1. 実装チームの結成.....	32
2. 社会的ハイリスク妊婦スクリーニングシステムの変更.....	32
3. 助産師への変更されたスクリーニングシステムの説明・周知.....	36
Ⅱ. スクリーニングシステム改善に向けての実装化.....	39
1. 改訂版スクリーニングツール項目の作成.....	40
2. スクリーニング判定プロトコルの作成.....	41
3. スクリーニング方法（再診用）の紙からタブレット式への変更.....	44
4. スクリーニング判定記録の作成.....	58
5. スクリーニング実施についてのポスター掲示.....	59
6. スクリーニングシステム改善.....	60
7. スクリーニングシステム改善結果のまとめ.....	61
Ⅲ. 組織的アウトカムの測定.....	62
1. 妊婦健康診査を受信している妊婦全員が記入漏れなく、全項目に回答できる..	62
2. 助産師が正確にスクリーニング判定できる.....	62
3. スクリーニング実績を委員会に報告できる.....	63
Ⅳ. スクリーニング実績.....	64
第6章 考察	67
Ⅰ. 妊婦参加者の全体像.....	67
Ⅱ. 組織的アウトカム.....	67
Ⅲ. 実装戦略の評価.....	68
1. 改訂版スクリーニングツール項目の作成.....	68
2. スクリーニング方法のタブレット式への変更.....	70
3. 助産師のスクリーニング判定に関する能力.....	71
Ⅳ. 実装計画の評価.....	72
1. 障害となった要因.....	72
2. 促進となった要因.....	75
Ⅴ. 組織的介入の評価.....	76
Ⅵ. 研究の限界.....	77
Ⅶ. 今後の展望.....	77
第7章 結論	79
引用文献	81
資料	